



AA日本ニューズレター

NPO法人AA日本ゼネラルサービス (J S O)

No.137

第3回 全国矯正・保護施設フォーラム in 関西

「AAへの架け橋」～そして飲まないで生きる～

第3回 全国矯正・保護施設フォーラム in 関西

1994 年来日していたニュージーランドのワールドサービスミーティング評議員を囲んでの矯正・保護施設メッセージについてのワークショップが日本の矯正・保護施設メッセージ活動の第一歩でした。

日本の全体サービスの中で刑務所メッセージや保護施設へのメッセージは少しずつ着実に根をおろしていきました。20年の歩みの中から2006年に東京・中野サンプラザで第1回AA全国矯正・保護施設フォーラムが開かれ大きな次の流れとなってゆきました。

昨年は山陰地方の浜田市で2回目のフォーラムが開催され、民間刑務所の開設などとも関連してAAメッセージのあり方を広く話し合うことができました。

今年2月の第14回全国評議会において第3回矯正・保護施設フォーラムの開催を関西地域の責任で行うことが勧告されました。現地で実行委員会が立ち上げられ、今秋京都で以下の要領で開催することが決まりました。

開催日時 2009(平成21)年10月18日(日曜)午前10時
会場 ホテル本能寺 西館5階大会議室

京都市中京区(京都市役所の真向かい)

参加費無料 (昼食は各自；弁当の用意有り：要予約)

交通 京阪三条より徒歩5分 阪急河原町より徒歩8分
地下鉄 京都市役所前 出口 ③ ④

プログラム

午前10:00～ 矯正・更生保護施設とAAの関わり 常任理事
基調講演 ①関西地域 矯正施設職員

②麻生克郎氏(垂水病院副院長)

AAメンバーの話

—昼食休憩—

午後13:00～ パネルディスカッション

総司会 大河原昌夫氏(住吉病院副院長)

AA日本常任理事会A類常任理事

パネリスト ・麻生 克郎氏(垂水病院副院長)

・井之口 隆氏(京都保護観察所)

・加藤 吉宏氏(和衷会 施設長)

・関西地域 矯正施設職員(教育担当)

・関西地域 ソーシャルワーカー

プレフォーラム

フォーラム前日に行うこれまでの経験の分かち合いと報告

10月17日(土曜日) 午後1時より受付

1時30分 開会

会場；ホテル本能寺

一泊二食¥10,500

詳細はKCO 06-6535-0833 までお問い合わせください

信頼そして、愛

AA九州・沖縄ラウンドアップIN宮崎を終えて
ラウンドアップ実行委員長、ともこ

「成功を祈る。いよいよだね。精一杯がんばってきたんだから、いっぱい勉強してこい。」ラウンドアップ当日朝、献品の搬出を行っているときに届いた夫からのメールです。一年半前、家族の承諾を取ることから、私のラウンドアップへの道は始まりました。「やりたかったらやれば？で、家のことは？」「お母さん、まさか受けたわけじゃないね？」前途多難の船出でした。とにかく仲間の励ましだけが頼りでした。

7年前、一般病院を転々とし、幻覚に悩まされ沖縄まで除霊に行った挙げ句の専門病院への入院。振戦がひどく、問診票はおろか、コップの水を飲むのもままならない状態でした。即入院を言い渡され、「整理をして、明日来ます」と抵抗してみましたが却下されてしまったのです。鍵のかかったドアをいくつも通り抜け、うつろな目をした患者さんたちの中へ足を踏み入れました。

入院中にAAと出会いました。「生きているのがどうにもなくなかった。」なぜかこの一文が心に届きました。自分の話を聞いてくれる人たちがいる…何も言わずに。ここなら…。安心できる場所を見つけました。

退院後、フェニックスGに繋がり、週1回のミーティング通い。あのころの私は、ミーティング会場を「駆け込み寺」と捉えて、家から逃げるように行っていました。AAの中では自然に振る舞えるのに、家では小さくなっている自分…「家に帰りたくなかった！」。いまではあんなことだと思いますが、よく泣いていました。かわいそうな自分に酔っていたのでしょうか。最近は、少なくなりましたが、時々は今でも…フッ？

自分のことで精一杯だった私に、地区そして地域へと、そして魅力的な仲間のもとへと導いてくれた仲間との出逢いで、私の世界はととても広がっていきました。その仲間から信頼というすばらしい贈り物をいただきました。私の一生の宝物です。

さて、「なんとかなるさ！」ということで、ラウンドアップの準備が始まりました。前回、前々回の開催地区(福岡、佐賀)のメンバーから、工程表や進行のアドバイスを譲り受けてのホテル探し。値段と規模の合う会場を探し当てることができ、ひとまず一段階クリア。いかんせん初めての経験というメンバーが多いので、沖縄開催の地域ラウンドアップへ視察を兼ねた参加を決めました。初めてづくしのメンバー10名近くが、現地で感じたこ

とを自分たちのときに生かそうと、意気込んで沖縄へ出かけ、やる気はグングン上昇していきました！

「テーマは？Tシャツは？記念品は？」まずは、「どんなラウンドアップにしたいか？」根本の課題です。「おもてなし宮崎。あたたかさ。最近のラウンドアップで少なくなっている、もっとも大切な分かち合いを全面に」などなど。いろいろな提案の中からテーマが決まりました。「出逢い そして喜び 日向の国から」「出逢い」にするか「出会い」にするか少々揉めましたが、愛しい人たちに逢いたいとの意見に軍配が上がりました。

「宮崎らしさ」を全面に、記念品は幼いころから親しんでいた「ソテツの猿」、Tシャツの背中には、メンバーの家族作の「夜神楽」、初参加者には「埴輪のキーホルダー」と、そして忘れてはならないのが、鹿児島メンバー制作の地図パズル？（切り抜き、文字の焼き付け、組紐すべて手作りです。ありがとう！）

ここまで順調に進んできましたが、問題は参加人数とラッフル献品です。地区委員会や地区集会、各地区のイベントに参加して、ラウンドアップ紹介と献品のお願いの時間を設けていただき、つたない宣伝をしてきました。

始めは少々楽観的に考えていたのですが、〆切が近づいて来るのにもかかわらず参加者の申し込みは伸び悩み、どうしようかと思案し、心配していました。・・・ところが、フタを開けてビックリ！宿泊者数2日間で延べ300名という結果に。集まったラッフル献品は約1000点！本当にご協力ありがとうございました。

「アメージングストーリィ」から始まったオープニングセレモニーは開会挨拶の後の「日向ひょっとこ踊り」、カウントアップ・ダウン、ニューカマーへの贈り物、そして、ミニコンサートと続いてゆきました。ひょっとこの中には本人が、ミニコンサートの中には家族が。歌に話に感動したメンバーも多かったと聞きました。もちろん、私もその一人です。大変な盛り上がりで、楽しんでいただけたと思います。その後は、「スピーカー・ミーティング」「24時間ミーティング」「女性ミーティング」「カラオケ」「風呂」ときて、あとは解散！でした。

2日目、一番気にかかっていた天気がかきれいに晴れて観光日和になり、観光バスツアーで日南海岸へ、マイカーで高千穂へとそれぞれの予定を立てて出かけていきました。また、地域主催の「サービスミーティング」では、WSM評議員の方の楽しい報告があり、質問の時間など、約70名の参加で、これも盛況でした。

さて残った実行委員メンバーはラッフルパーティの準備におおわらわです。「献品をどのような配置にするか？目玉商品はどの辺りで出すか？券の確認作業は？」などなど担当者の腕の見せ所ですね。いよいよ、ラッフルが始まり、バンド演奏によるカラオケ大会や仮装メンバーのステージ、ギャグもありの大変な盛り上がりでした。大盛況のうちに無事終了です！

会場にきてくれた私の家族の哑然としていた様子がとても印象に残っています。

最終日、いよいよお別れのときです。7年前途方に暮れ、どうすることもできなかった私が、皆さんの前に立って挨拶をしているのです。私をAAに誘ってくれた同室の人、外部のミーティング会場に連れていってくれた今は亡きメンバー、私に無力を教えてくれた人、心から

の信頼をくれた人、そしてAAの楽しさを教えてくれた数々の先行くメンバー、そして家族、それから私を支えながら一緒に歩いてくれた（これからも）宮崎の、九州のメンバーたち、みんなの後押しをもらって、今回のしもべとしての仕事を終えることができました。

心から感謝しています、ありがとうございました。飲んだくれだった、なんのとりえもない私に何ができるのだろう？とよく考えます。が、よくわかりません。

今回このイベントにかかわらせていただき、皆さんの笑顔を見たいとがんばってきたこの1年半が、あっという間に過ぎました。まだAAを知らずに、ひとりで苦しんでいる人、飲まないでいるけれども生きるのがへたな人、そして、傷ついた人が休んで生き直せるAAをこれからも大切にしていきたいと思います。無償で貰ったものをお返しすることは、自分にできる唯一のことですから、行動していきたいと思います。その方向性を常に見過たずに生きていたいと願っています。

ミーティングにつながり、「わからなくていいから」と地区委員会に誘ってくれ、地域委員会に、30周年記念集会に、各ラウンドアップに導いてくれ、その度に顔を合わせ（話はしなくとも）その中で自然と培われていった信頼関係、そしてAAの一体性や大きな愛を、これからも大切に温めて大事に育てていきたいと心から思います。ありがとうございました。

スーパーのチラシから ～地域からのニュース～

神奈川県三浦半島の先端に三浦グループができたのは2008年の2月だった。二人のメンバーが月に2回のミーティングを始めた。二人のビジネスミーティングは知恵を絞り、市の機関に案内を届けたりしながら広報活動も始め、近所のスーパーマーケットにミーティングの案内を貼らせてもらったりしていた。

近頃、もう一つの会場が確保され毎週のミーティングが出来るようになった。先日メンバーのバースデイミーティングが開かれた時のことである。スーパーのチラシを見た問題を抱えた男性が会場にやってきた。ある日スーパーでAAのチラシを見て、しばらく迷っていたが再度スーパーへ確認に行ったところ、チラシは既に外された後だったようだ。彼は幸いなことにインターネットで探すことができミーティング会場にたどり着いたのだ。

アルコールの問題で苦しんだり、悩んだりしている人はかなり多いと考えられるが、病院に行くことはなかなか勇気があることで、自分自身を振り返ればよく分かる。何らかのきっかけやタイミングの良い情報がメッセージとなるわけで、色々なチャレンジが必要である。

このグループは市内の病院や福祉事務所にもでかけていて、市立病院のソーシャルワーカーとコミュニケーションがとれて老人介護施設などの紹介もいただいたようだ。しかし、狭い地域社会の中ではなかなかアルコール依存症の問題を前面に出すことはまだ難しいようである。そこで、マスメディアとのコンタクトも必要で、前述のグループは新しい会場ができた時に地元紙による広報もやってみた。きちっと掲載依頼をし、記者と話し合い、AAのことを正確に伝えた結果、新聞に取材記事として掲載された。

アルコール医療の専門機関や福祉行政機関の中にAA（アルコホーリクス・アノニマス）の名前はかなり浸透していることも事実である。しかし一般医療の分野や市民生活の中では、まだまだ十分に理解されているわけではない。

とにかく、自分たちが、今飲んでいないことは大きなメッセージになるわけだから、これをどうやって苦しんでいる人たちに届けるかを、それぞれのAAメンバーに考えてもらえたらと思う。

アルコール専門病院には未来の仲間がたくさんいるし、一般病院だって問題飲酒者はいる。どうしても病院に行く勇気を持ってない人はどれだけの数になるのだろう。さらに言えば、直接本人に伝えるだけでなく、周囲にいる人たちに回復の希望を届けることも大切なことである。

前述のグループは今5人のメンバーになったと聞いている。きっと、これからいろいろな所でAAを知った未来のメンバーがやってくることだろう。

知恵を使い、経験を分かち合いながらAAは続いてきた、これからも続けなければ……。

アノニミティー破りにAAはどのように

対応すべきなのか？

NY GSO ニューズレターBOX459 2007Apr/Mar より再録

有名な映画スターがテレビで「AA で見つけた新しい人生」について熱く語り、町の資金に手をつけて逮捕された政治家は新聞で「酒とドラッグがこうさせたのだ。しかし今私はAA ミーティングに通っている…」と語る。また、著名な作家は自身の体験をもとに、「アルコホーリクス・アノニマスにおける癒し」という本を出版し、“自分のような人たち”を助けるために書いたのだと述べる。そして半年後には、彼が“再飲酒”したことがメディアで報じられる。年に何百回と起こるこのようなアノニミティー破りに対して、どのような対応ができるだろうか？

GSO には、共同創始者のビルWが「霊的に生き残るための鍵」と呼んだ大切な伝統であるアノニミティーを破ることへの懸念を綴ったAA メンバーたちからの手紙が寄せられている。理事会の広報委員会は毎年、全国のラジオ・テレビ局、通信社、新聞社に、公のレベルでのアノニミティー（無名性）の伝統について説明した手紙を送付している。また、英語、フランス語、スペイン語の出版社や、黒人コミュニティ向けの出版社にも送られている。多くの地域が、地元の広報委員会によって印刷されたこのメッセージを、地域のメディアに対して送付している。

「アノニミティー（無名性）」という見出しで始まるこの手紙には次のように書かれている。「アノニミティーは私たちの共同体の霊的な基盤であり、メンバーの回復について秘密が守られることを保証するものです。飲んでいるアルコホーリクというのは、自分の身元が明かされる危険のある者からの助けは受け入れないことが多いのです」

続けて、「メディアのみなさまには、引き続きご協力いただけてますようお願い申し上げます」とあり、「メディアで紹介するAA メンバーの名前はファーストネームのみ

とし、個人が特定できるような写真は使用されないようお願いいたします」と書かれている。

「世界中で」手紙はこのような締めくくられる。「メディアにおける好意的な報道は、アルコホーリクたちがAAにつながるための主要な手段となっています。ご協力くださるみなさまに心より感謝申し上げます」

アノニミティーが尊重されないような事態が起きたときには、関与した出版社や放送局に手紙を送る要請がメンバーからGSOに寄せられる。しかしながら、公のレベルでの伝統を守る責任は個々のAAメンバーにあるということが、長いあいだAA常任理事会と評議会で合意されてきたことである。

広報委員会の担当者は、アノニミティーを破ったメンバーが住んでいる地域の評議員に手紙を書く。例えば、新聞でアノニミティーが破られた場合、評議員には、その記事のコピーと、当事者であるメンバーに対してアノニミティーの伝統について丁寧に説明するよう提案された内容の手紙が送られる。評議員から依頼された場合にのみGSOが手紙を書く。

センセーショナルな報道が盛んだった時代、広報委員会はAAを世間の論争から遠ざけておくことに成功した。しかし何人かのメンバーたちは、AAはたくさんのアルコホーリクたちの人生を救ったのだから、アノニミティーをかたくなに守るのはおかしいと考えていた。彼らはまた、活字や電子メディアは、強いインパクトと共に情報を与えることができ、身近な問題として示すことができるため、アノニミティーの伝統によって現実味が半減してしまい、それゆえに、今苦しんでいるアルコホーリクに共感をもたらしすることができないのではないかと懸念した。

しかし、私たちの伝統の知恵を受け入れている他の多くのメンバーたちは、AAにおける個人の回復が第一であると指摘している。さらに、メンバー一人一人にとって、アノニミティーに関する伝統は、私たちの自我を縮小させ、権力と名声を求める衝動を和らげるためにある——つまり私たちのソブラエティーを保つためにあるのだということを理解している。アノニミティーがあるにも関わらず、200万人以上のアルコホーリクがAAにたどり着くことができた。言い換えれば、アノニミティーあるからこそ、それは果たされてきたのであり、これからはさらに多くのアルコホーリクたちがたどり着けるだろうと記している。

グループの会計係

AAサービス資料「グループの会計係」より

会計係の役割は大切で重要なものです、この役割についての資料がNY GSOから発行されています。翻訳が急がれていましたがこのほど完成し、毎年各グループに送付しているグループハンドブックの中に綴じ込むことになりました。

また準備が出来次第、PDFファイルにしてホームページに掲載します。ダウンロードをしてどうぞご利用ください。

今回その一部を紹介し、アメリカ/カナダの文化や金融システムの慣習が日本と異なりますが、参考までに掲載しています。

・スピリチュアリティ（霊性）と金銭

グループの会計系の役割にはさまざまなことが含まれる。忘れてならないことは、会計係が管理する金銭はスピリチュアル（霊的）な目的に使われるということだ。

つまりその金銭によってグループは、まだ苦しんでいるアルコールにメッセージを運ぶという第一の目的を達成することができる。これはAAの基本的な活動であり、その活動を続けていくために、グループはミーティング場を開けておかなければならない。

会計係は、そのような12番目のステップ活動（メッセージ）の重要な一部を担っているのである。

・会計係を選ぶ

会計係は、グループの中でもっとも責任のある役割の一つである。会計係になるために必要とされるソブラエティーの長さに基準はないが、多くのグループが妥当な期間（少なくとも6か月から1年、またはそれ以上）があることを提案している。

また会計係は、12の伝統の基礎を理解しており、AAの原理やグループの慣習に慣れていることが提案されている。

・献金用のバスケットを回す

グループの自立を確実にするために、献金用のバスケットを回すのが一般的である。AAメンバーになるための会費や料金がなくて、ミーティングに参加しているメンバーの自発的な献金によってグループの経費をまかなっている。それはまた、地域のサービスやGSO（JSO）のサービスを支えることにもつながる。

バスケットに集められた献金は通常、会計係によって集計される。

・グループの支払い

会計係は、グループの定期的な支払いおよびグループの資金を正確に記録しておく責任がある。また、グループのお金が何に使われたのか報告を受ける必要がある。グループが献金するAAのすべてのサービス機関の住所も管理しておくべきだ。

家賃、書籍、飲みもの、保険などの基本的な支払いのあと、グループは以下のAAサービス機関に献金することで、AA全体を財政的に支えることができる。

1. 地元のセントラルオフィス、またはインターグループ
2. 地域と地区

3. ゼネラル・サービスオフィス

これらの機関における献金の使いかたはさまざまだ。それは常に、まだ苦しんでいるアルコールにAAのメッセージを運ぶという目的のためである。

・会計報告

ほとんどのグループが、毎月または定期的に開かれるビジネスミーティングで、会計報告と関連資料の提示をしている。そうすることで、グループメンバー全員が財政状況について把握でき、その使いかたについてグループの良心を導き出すことができる。

・慎重に設定された予備金

多くのグループが、適切な額の予備金を用意している。その額について水準はないが、ほとんどのグループが運営費の1ヵ月分から3ヵ月分に設定している。

グループは自分たちで予備金の額と範囲を決める。私たちの経験によれば、将来を見越した額を超え、目的もなく蓄えられる資金というのは、グループの関心を今苦しんでいるアルコールにメッセージを運ぶことからそれさせてしまう可能性がある。

過剰な資金を持ったグループは、サービス機関を支えることが勧められている。

「訳語に関するご提案について」

出版担当理事 新村

日頃より、日本語翻訳版AA出版物に対するみなさまの深いご理解とご協力に心より感謝しています。AA出版物の訳語について寄せられるみなさまからのご意見は、第10回評議会（2005年）の勧告にもとづいて、JSOでストックされています。（書面にて届けられたもの。）

これらは、常任理事会に設置された訳語検討委員会で検討され、最終的には評議会で判断されることとなります。（『ビッグブック』『12ステップと12の伝統』は評議会の承認なしに変更することはできません。）このプロセスを公正に行っていくため、そして、区切りをつけながら作業を行うことができるよう、改訂案の受付期間を定期的に設けることにいたしました。

そこで今回、2010年2月末日でいったん区切らせていただきたく、ご協力をお願いいたします。（期日を過ぎたものは、次期の扱いとなります）内容によっては、特に『ビッグブック』『12ステップと12の伝統』につきましては、時間をかけて慎重に進めて参りますので、何期にも及ぶ可能性が予想されます。みなさまのご理解とご協力に感謝いたします。

訳語に関するご提案は、JSO宛に以下のいずれかの方法でお願いいたします。

FAX／郵送／電子メール（gsoj-pub@fol.hi-ho.ne.jp）

お知らせ！

「保健医療関係者の皆様へ」が値下げされました！

広報用の資料として活用されているこのパンフレットは今まで¥150でしたが、再版（表紙改訂）の機会に印刷部数を増やし印刷コストを下げることにしました。頒布価格を¥100といたしましたので、更なるご活用をいただきたいと願っております。

JSO

BOX 916 バックナンバーの活用を！

JSOにはBOX 916のバックナンバーが在庫として保管されています。ワークショップやセミナーなど、活用方法など詳細はJSOまでお問い合わせください。

編集・発行： NPO 法人 AA 日本ゼネラルサービス（JSO）

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 4F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

（月～金） 10:00～18:00 （土・日・祝）休